



Save the Children

子どものセーフガーディング 連続研修 2025

ボリビアのスポンサーシップ事業に参加する子どもたち
Photo: Maria Olguin - Save the Children Bolivia

子どものための活動を行う団体では、安心・安全な環境を整えるために日々さまざまな力を尽くされていることでしょう。しかし、支援・育成する立場にある者の不適切行為により、子どもの権利が侵されるといった問題が度々明るみに出るようになりました。そういった問題の予防や早期発見が求められていますが、どのように取り組むべきかお悩みの団体も少なくないのではないのでしょうか。本企画では、さまざまな子ども支援分野を対象に、全 5 回の研修を通じて「子どものセーフガーディング」を学び、実践していくことを目指します。座学と並行して実際に自団体に取り組みを導入していただき、他の参加者とともにその体験や悩みをフィードバックしながら進める伴走型の研修です。セーフガーディングの導入や強化をめざす多くの団体のお申込みをお待ちしています。

◇ ◇ 募集要項 ◇ ◇

1. 目的： 子どもの支援に携わる団体が「子どものセーフガーディング」を導入し、参加者相互の学びを通じてより効果的で機能的に実践を進めていくことを目指します

2. スケジュールと開催方法：

回	日程	方法・場所	予定トピック
1	10月14日(火)	オンライン	セーフガーディング概要、行動規範、実行計画
2	11月11日(火)	オンライン	指針、リスク分析と削減
3	12月9日(火)	オンライン	性暴力の理解と予防
4	1月13日(火)	オンライン	広報活動、人材管理
5	2月3日(火)	都内会場	通報相談と対応の基本

※ 第1~4回は13:00~16:00、第5回は10:00~18:00の予定

3. 定員： 30人(各団体から2~3人の参加を推奨) 申込多数の場合は次ページの条件に沿って選考します

4. 参加費： 1人につき11,000円(税込) 全研修一括

5. 申込： オンラインフォームから、できるだけ団体でまとめてお申込みください
<https://forms.office.com/e/5urFmzeHuy>

6. 〆切： 2025年9月25日(木)

「子どものセーフガーディング連続研修
2025」参加申し込み



7. 対象者および参加条件：

国内の子ども支援活動に携わっている NPO や民間団体などの役員や職員等を主対象とします。セーフガーディングの実施に影響力のある役員や管理職、担当者として制度作りや啓発を担う方、子どもと接する事業の責任者などリーダー層の参加を推奨しています。業種指定はありません。

- ✓ 原則として、5回全ての連続研修にご参加いただける方。
- ✓ 所属団体において、セーフガーディングについて学びながら導入していく意欲があること。(本研修と並行して、自団体での取り組み計画や実践を試みていただくことになります)
- ✓ スムーズな実践のために、各団体から複数の参加を推奨します。ただし、応募多数の場合は一団体の参加上限を3人とさせていただくことがあります。
- ✓ 第5回は都内の会場で対面形式の開催予定です。その旅費・宿泊費などは参加者負担となります。また、ハイブリッド開催や録画の予定はありません。

8. その他：

- ✓ 申込数が15人に満たない場合は、開催を延期することがあります。
- ✓ オンライン会議アプリ Zoom Meeting や、クラウドサービスを使った文書のやり取りを予定しています。そのためのオンライン環境は各自でご準備ください。
- ✓ オンライン開催時は双方向コミュニケーションのため、画面にお名前と顔出しをお願いします。
- ✓ オンライン研修は録画し、登録者のみ期間限定で視聴できるようにします。一部視聴いただけない場合もあり、あくまで補助的なものにご理解ください。
- ✓ 受け付け結果は、9月末から10月上旬にご通知いたします。

企画説明動画

長期にわたる研修のため、企画詳細を説明する動画をご用意しています。参加をご検討される方は必ずご視聴のうえ、諸条件をご確認のうえお申込みください。

<https://us02web.zoom.us/rec/share/zvJfxiHQhbF6SNuDznQ-cSTCo80kcllPqiWwK1k9UPxf7hQkeqzmL4N47NFSnVgH,kZzLrYkCcBmt6B2Y>

主催： 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
問合せ先： 金谷 japan.csdesk@savethechildren.org
電話： 03-6859-0070 内線 161 (月・火・水・金曜の 10:00-17:00)

子どものセーフガーディングとは

関係者による関係者による虐待や搾取など、子どもの権利に反する行為や危険を防止し、安心・安全な活動と運営を目指す組織的な取り組みです。疑念が生じた場合の対応と再発防止も含む包括的なものであり、組織の責任として向き合っていく必要があります。ここでは家庭内虐待についてではなく、事業やスタッフ・ボランティア等によって、主に事業の利用者に対してもたらず、あらゆるレベルの不適切な言動の防止に取り組みます。性的搾取・虐待は言うまでもなく、体罰や暴言、差別、ネグレクトなども含みます。故意か過失かは問いません。リスク削減や安全な事業設計から、人材採用、スタッフへの啓発、通報制度、疑念案件調査や人事処遇、再発防止までの幅広い要素からなり、包括的な取り組みが必要とされています。

参加団体に取り組んでいただくこと

この企画では、研修の場で学んだことを各団体に持ち帰り、自団体内の皆さんの理解を得ながら、活動実態に即したセーフガーディングの仕組みを作っていくことを目指します。そのため、連続研修の期間および研修後の一定期間内に、参加者には以下のことを取り組んでいただくことを想定しています。

- セーフガーディング実践のための取り組み計画づくり
- リスク分析とその軽減策の導入
- 行動規範やルールづくり
- 報告相談窓口と問題対応の体制づくり
- 団体内外のスタッフや関係者、子どもたちへの周知

過去の類似研修参加者の声

自分たちの活動の点検・改善をするうえで、この研修が大変役立ちました

他の団体との交流から学ぶことが多かったです。自分たちと似たような段階の団体や先行して取り組んでいる団体の話を聞き、自団体がすべき事柄が具体的に見えてきました

日々の活動の中で「良いこと」はすぐ言えても、「そうでないこと」はなかなか指摘しにくいものです。問題があったときに見過ごされないよう、対応の所在をもっと分かりやすくする必要があると痛感致しました

個々人の意識を高めていくだけでなく、明文化されたポリシーや規範と、それを実効あるものにするための体制、教育、情報、制度をセットで取り組む必要があると思いました

子どもの最善の利益を守り、心豊かな成長・発達のためにセーフガーディングが必要なことだと再認識しました。また、子どもから高齢者のみならず、今後事業を実施するためにスタッフ同士でこのことを共有、胸に刻み、実施していきたいと強く感じました

【個人情報保護について】

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、活動を通じて取得した全ての個人情報の重要性を認識し、当法人の「プライバシーポリシー」に基づき、個人情報保護法をはじめとする関係法令および関連ガイドラインを遵守して、個人の権利保護に努めます。当法人が取得した個人情報は、当法人主催イベントまたは当法人参加イベントのご案内のほか、同「プライバシーポリシー」記載の利用目的にのみ、使用します。